



国土交通省
気象庁
Japan Meteorological Agency

東京管区気象台

Tokyo Regional Headquarters, JMA
～ 守ります 人と 自然と この地球 ～

気象庁のひと

になろう

私たちは大雨や地震、火山噴火などの自然現象を監視し、天気予報や警報等の情報を発表して、国民の皆さんの命や幸せを守るために日夜奮闘しています。

子供の頃から気象庁に憧れ、その一員になりたいと願い、そして今、「気象庁のひと」として働いています。

気候変動や大地震、火山噴火などが身近な危機として叫ばれる今、あなたも「気象庁のひと」となり、大切な人の笑顔を守るために一緒に働きませんか。



東京管区気象台は、関東甲信越・東海・北陸の1都16県を管轄し、各県に16の地方気象台と、成田・羽田・中部空港に航空地方気象台を抱える気象庁の組織です。気象庁の約5,000名の職員のうち、管内で約800名が働いています。



先輩からのメッセージ

採用から4年が経過し、これまで観測や予報、気象解説などを経験してきました。また、令和6年能登半島地震が発生した際には石川県災害対策本部に派遣され、各機関の活動の支援にあたりました。契約や調整業務などのデスクワークから、機器の点検や災害支援の現場の最前線まで、自分の興味や希望に合わせて様々な角度から、人命を守るための業務にあたることができるのが魅力だと考えています。

(令和2年度採用 一般職・大卒程度・化学)

東京管区気象台で気象観測に関わる仕事をしています。主な業務内容は、観測データの確認、修正、東京都内のアメダスの点検などを行っています。伊豆諸島や富士山にある観測所にも点検に行きます。桜などの生物季節観測も担当します。また、突風被害があった時には、突風調査に行ったり、ラジオに出演して普及啓発活動をしたこともあります。私の仕事は点検などで外で仕事する機会が多いですが、自分たちが点検した観測機器から得たデータが人々の役に立つことがやりがいだと感じています。

(令和6年度採用 一般職・高卒程度・技術)



採用Q&A

Q: 採用されたらどこに配属されますか?

A: 技術系(大卒程度)の採用者は、全国の気象台に配属されます。一方で行政系、技術系(高卒)は、選択した採用地域の気象台に配属されます。

Q: 入るのに専門知識は必要ですか?

A: あると役立つでしょうが必須ではありません。研修で知識や技術を学んだり配属先で教わりながら仕事を覚えていきます。

Q: どんな業務を担当しますか?

A: 行政系は総務や人事、厚生、会計、広報等の事務、技術系は予報や観測、地震火山、通信、防災等を担当します。事務職も防災業務をすることがあります。

Q: 転勤はありますか?

A: あります。部署内の配置換えも含めた人事異動の目安は、通常2～3年に一度ですが、転勤に制約のある個々の事情は、できる限り考慮します。

【問い合わせ】

〒204-8501
東京都清瀬市中清戸3-235
電話: 042-497-7183
東京管区気象台総務部総務課人事係

気象庁
職員募集案内HP



東京管区気象台
職員募集案内HP



東京管区気象台X
(旧Twitter)



気象庁マスコット
キャラクター「はるん」:
太陽、雲、雨がモチーフ。緑の
タクトで災害がなく調和の取
れた地球への祈りを奏でます。

